



さざんか、さざんか 咲いた道 (11月30日)

慧 光

金光寺寺報
第150号
発行所 金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
5927番地
0982
83-2338

今月のことば

念仏者とは一切衆生を「御同朋」として見出していく存在 (宮城 顛)

阿弥陀仏の本願を聞き、念仏申す私たちには、どのような世界がひらかれてくるのでしょうか。生活のなかで出会っていきあらゆる人たちを、自分の都合ではなく、その人として見ていくことができるのでしょうか。親鸞聖人は、お念仏のなかにともに生きる人びとを「同朋」「とも同朋」と言われています。

今月の言葉は、宮城 顛師の著書『本願に生きる』のなかの言葉です。少し前後の文章を含めてご紹介してみます。

「御同朋」という言葉は、実は「一切衆生」、つまり、おおよそ人間をみる眼を言い表している言葉であって、あえていえば、念仏者とは一切衆生を「御同朋」として見出していく存在。念仏者が「御同朋」なのではない。念仏者の集いが「御同朋」なのでもない。念仏者とは一切衆生、一切

の人間を「御同朋」として見出していく。そういう心をたまわったものであり、その歩みを開かれたものだといふべきではないか。(『本願に生きる』77~78頁)

本願に願われている存在、いや願われねばならない存在としての私に出会う時、一切の衆生とともに願われているものとして受けとめ、見出していくことができるでしょう。その時に、自分の関心や都合を超えて、一切衆生そのもの、周りの人をその人として見出し、出会っていきことができるのではないのでしょうか。人を、物のように自分の都合のいいように利用するのではなく、人を人として見出していき、そこに「御同朋」の世界、人間が人間として生きるということがあのように思います。

(本願寺出版社刊「大乘」誌より転載)

金光寺よろずコーナー

先月の寺報2ページで明年 2014年の年回忌案内をしましたが、誤りがありました。ご迷惑をおかけしました。お詫びを申し上げますとともに、訂正して再掲載します。

2014(平成26)年の年回忌案内

- 一周忌(2013年・平成25年の物故者)
- 3回忌(2012年・平成24年の物故者)
- 7回忌(2008年・平成20年の物故者)
- 13回忌(2002年・平成14年の物故者)
- 17回忌(1998年・平成10年の物故者)
- 25回忌(1990年・平成2年の物故者)
- 33回忌(1982年・昭和57年の物故者)
- 50回忌(1965年・昭和40年の物故者)
- 100回忌(1915年・大正4年の物故者)

11月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2013年 11月22日 寂 満83歳
笠 部 山下直利様

ホームページ開いています。

URL <http://konkhoji.jp>

12月7日現在 アクセス数 66,368人

漫画を読むのが好きです。ただし、タッチに好みがあり、すべての漫画を読むわけではありません。たいしては立ち読みですが、「月刊少年マガジン」と「ビッグコミックオリジナル」だけは買って読んでいます。今日(六日)はビッグコミックオリジナルの発売日。コンビニに漫画を買いに行ったのですが、行きも帰りも普段より車の通行量が多くて、「?」状態になりました。よくよく、車を見ると車番は他県ナンバーが多く、屋根の上にはスキーやスノーボードを積んでいます。やっとなら、今日から五ヶ瀬ハイランドスキー場がオープンということに気づきました。シーズン中の入場者数四万人突破が目標との事。入場者数が四万人を超えなければ、いづれスキー場は営業を止めるとも聞きます。五ヶ瀬の知名度を上げてくれたスキー場、最盛期はスキー場があることに誇りを持つたものです。そんなスキー場を何としても残したいので、今シーズンにはスキーをしに行こうと思っっています。ただ、老化した身を考えて怪我がとても心配です。(住職 松井卓郎)

住職ひとりごと

仏教用語豆辞典

懺悔

「へえー、懺悔は仏教語ですか。キリスト教の言葉じゃないのですか」と、尋ねられました。なるほど「ザンゲ」は、今ではキリスト教の雰囲気を感じる語です。しかし、本来は「サンゲ」と

読み、仏教語なのです。古代インドの語「クシヤマ」を音写すると「懺摩」。意識すると「悔む」となります。そこで、これを合成して「懺悔」となりました。くやむこと。人に罪のゆるしを請うこと。自分の犯した罪を仏の前に告白すること。悔い改めることを意味します。原始仏教では、半月ごとに布薩という儀式を行い、戒律の箇条が読み上げられ、罪があると裁きを受けました。これが懺

悔で、この時の作法を懺悔五法といいます。『御文章』には「つみは十悪五逆誑法闡提のともがらなれども、廻心懺悔して、ふかく、かかるあさましき機をすくひまします弥陀如来の本願なりと信知して」とあります。自力をひるがえして、他力に帰する意味だと教えられました。(本願寺出版社発行 辻本敬順著 「仏教用語豆辞典」一〇〇ページから)

一年最後の月に

今年も残りわずかになりました。今月十五・十六日の当山報

恩講に向けて、あわただしく準備の毎日です。晴れて、寒くな

ければいいなと思っっています。報恩講準備にあたふたしている状態で、寺報編集もなかなか思うようにはままならず、昨年同様、法語カレンダー裏面に書かれてある「法語について」という法語の思いを掲載しました(手抜き奥の手)。昨年十二

月の寺報にも書きましたが、おそらく、カレンダーの裏面で見える方は少ないのではとの私の憶測から起こした行動です。明年の法語カレンダー、身近なところで、朝な夕な目にかかるときに、

法語について

光寿無量

浄土真宗のお寺には、様々なひとが訪れます。年忌や法事などでは、ご門徒ではない、他宗の方々がお参りされることもめずらしくありません。本堂にお座りになった方が、内陣中央のご本尊を見上げ、あのみ仏は、お釈迦さまですか、阿弥陀さまですか、それとも別な仏さまですか、などと住職に尋ねられることがあります。仏教は、いわゆる一神教ではなく、多仏がましますから、そのようにお尋ねされるのは、ある意味では当然のことです。

申すまでもなく、浄土真宗のご本尊は、阿弥陀如来です。その阿弥陀如来に帰依し、「南無阿弥陀仏」と申すところに、真宗門徒の生活の基本があります。あるいは「ナンマンドブ」などと声に出すほうが、私たちに親しい信仰表現の姿かもしれません。真宗門徒は、おりあることにお念仏を称えますが、「南無阿弥陀仏」は、インドの言語に発祥する言葉ですから、多くのの方々、とくに他宗の方々には意味不明の呪文のように響くかもしれません。しかし念仏は、けっして呪文ではありません。南無とは、「帰依します」という信仰の決意を表明する語であり、また阿弥陀仏とは、「無限のいのち」

「無限のひかり」という大きな徳を具えた阿弥陀如来を讃える言葉です。したがって、浄土真宗では、口に念仏申す、つまり称名するだけでなく、み名のいわれを聞くこと、すなわち聞名することが大切な意義とされます。宗祖親鸞聖人は、この南無阿弥陀仏の六字を、

「正信偈」の冒頭に、「**南無不可思議光**」

と表現されました。「はかりなきいのち(無量寿)のみほとけ、はかりなきひかり(無量光)のみほとけ」である阿弥陀如来に帰依し、現前の生活の場にまで届いた、南無阿弥陀仏のみ名を讃え、そしてそのいわれを聞くと

に、「正信偈」を諷誦し、また唱和する深い意味があります。無量寿は、永遠に消えることのない阿弥陀如来の大いなる「慈悲」を、そして不可思議光は、永遠に輝く阿弥陀如来の大いなる「智慧」を象徴します。この大悲と大智を円満した阿弥陀如来のみ名を称え、その慈悲に身を委ね、またその智慧に照らされ、苦悩に満ちた人生を力強く歩む、真宗門徒の生活のすべては、ここにありま

本年のカレンダーは、生涯をかけて、お念仏のいわれを聞き、そして私たちにご教示くださった諸先達の法語を掲載しました。ご味読たまわれば幸いです。

法語の世界

原文

ある人申され候ふと云々。われは井の水を飲むも、仏法の御用なれば、水の一口も、如来・聖人(親鸞)の御用と存じ候ふよし申され候ふ。

(蓮如上人御一代記聞書 百六十二)

現代語訳

ある人が、「井戸の水を飲むことも仏法のおはたらきによって恵まれたものだから、一口の水でさえ、阿弥陀如来・親鸞聖人のおかげなのだと思っ

用語の意味

御用……おはたらきによって、恵まれたもの。

二〇二二(平成三十五年)年 金光寺報恩講のお知らせ

日時	講師
十二月十五日 午前十時	備後教区 三谿組 善徳寺住職
十二月十六日 午後七時	浄土真宗 本願寺派 布教使
十二月十六日 午前十時	長谷川 憲 章 師

お参りの際は、門徒式章、念珠と聖典(お経本)をご持参ください。報恩講期間中の日中法要(午前十時から)の法要(午後七時から)の速夜法要にお参りください。

仏事お休みのお知らせ

下記の期日はお葬式を除き、仏事を行いません。ご協力をお願いします。

12月	21日 私立(高校用務)	24日 宮崎出張(教学勉強会)
2014年	2月	7日~9日 京都出張(息子得度関連用務)
	10日 午後私用(大学受験)	24日~26日 私用(大学受験)
3月	1日 私用(娘 高校卒業式)	4日~5日 京都出張(息子得度関連用務)
	7日~9日 私用(大学受験)	11日~13日 私用(大学受験)
	21日 彼岸会法要	